

# 市は、お互いの違いを認め合い、地域の一員として共に生きていけるまちを目指しています

## 最近まちなかで外国人の方をよく見かけるようになりました

### 多摩市の外国人住民についてみてみましょう

✓外国人住民数・割合が増えています

2016年  
1.46%  
(2,155人)

2025年  
2.48%  
(3,669人)

✓若い人が多いです

40歳代以下 全体の 78.1%

✓日本で長く暮らすことが想定されます

在留資格  
永住者、日本人の配偶者など 全体の 51.8%

今後、少子高齢化が進み、日本人市民数は減り、地域の担い手や地域コミュニティの活性化がより求められます

日本人・外国人に限らず、見知らぬ土地での暮らしは不安が大きいですね

日本人も外国人も  
地域社会の一員として  
共に生きていく  
【多文化共生】が  
大切になります

そうですね。言葉はもちろん、日本の文化や慣習、地域のルールなどすべての違いを理解することは簡単なことではないと思います。多文化共生の考え方が広まるといいですね

# 多摩市多文化共生推進基本方針を策定しました！

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくことです

## 多摩市多文化共生推進基本方針より

令和6年外国人住民アンケート結果  
「日常生活で困っていること」(一部抜粋)▶

| 外国人の困りごと     | 割合    |
|--------------|-------|
| 言葉が通じないこと    | 29.8% |
| 特に困ったことはない   | 27.9% |
| 病気やケガをした時のこと | 25.3% |
| 生活するお金に関すること | 19.4% |

### 主な取り組み

- ・地域における市民団体や地域福祉団体などの連携・協働
- ・やさしい日本語の普及・啓発
- ・災害時支援体制の整備 ほか

やさしい日本語って？  
難しい言葉を言い換え、相手に配慮した分かりやすい日本語のことです  
(例)  
土足厳禁→靴を脱いでください  
記入してください→書いてください

## あなたも いまからはじめる！多文化共生

### ▶▶やさしい日本語ワークショップに参加する

日7月19日(土)午後2時～3時30分 場からきだ菖蒲館2階ホール 共催唐木田コミュニティセンター運営協議会 協力明治大学山脇ゼミ 内地域生活の中で明日から使えるやさしい日本語について①山脇啓造氏(明治大学教授)による講義②ロールプレイなどを通じて明日から使えるやさしい日本語を知ろう！ 日1017483 日7月8日(火)までに、公式ホームページのインターネット手続きまたは電話で、文化・生涯学習推進課へ



### ▶▶多摩市国際交流センターの活動に参加する

多摩市国際交流センター(TIC)は、多摩市と連携しながら国際交流の促進や外国人支援、多文化共生の推進を行っています。  
外国人向けの日本語教室や日本人向けの外国語セミナー、国際交流イベントなどを通して、TICと一緒に国際交流の輪に参加しませんか？

## 多摩市国際交流センターが法人化！

設立から33周年を迎える今年、より安定した運営を目指し、法人化しました。そこで、理事長と事務局長よりコメントをいただきました。



理事長  
加藤晃章氏

TICは、地域での交流促進、国際感覚豊かな街づくりを目指し32年前に設立されました。念願の法人化が叶い、地域における多文化の共生に弾みをつけるとともに、一層皆さんから信頼されるよう、事業を邁進していきたいと思っています。



事務局長  
竹内佳代子氏

32年間のTICの歴史を大切に、これからも多摩市がより楽しい場所になるよう外国人と一緒にさまざまな活動を進めていきます。

日1017094 図文化・生涯学習推進課 ☎(338) 6882

